

くまもと 就農支援だより

Vol.2
2019/3

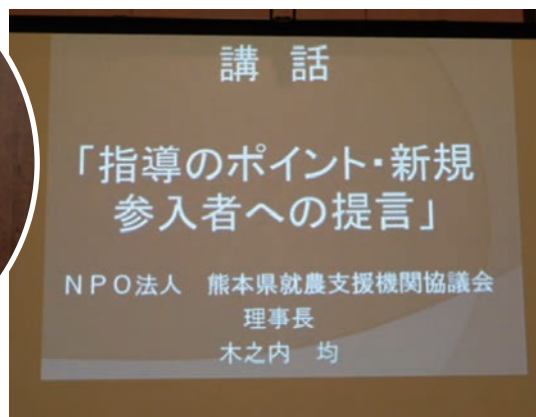
NPO法人 熊本県就農支援機関協議会

活動内容のご報告

受入農家 合同研修会を開催



理事長 木之内 均



平成31年1月29日(火) ホテルメルパルク熊本で参加者(受入農家、研修機関、熊本県、市町村、関係機関70名)で実施。

この研修会も、農業次世代人材投資事業開始後、全研修機関関係者が集まる初の試み

でした。研修受入れで困った、勘違いなど様々な課題を持って受け入れている受入れ農家にとって非常に為になった研修会でした。

参加者アンケートでは大変良かった57%、良かった43%と言う結果でした。この研修の意義を確かめることが出来ました。



認定研修機関 連携会議を実施

参加者：研修機関、熊本県、関係機関 計73名

日 付：6月20日(水)、9月26日(水)

会 場：ホテル メルパルク熊本 熊本阿蘇熊本空港ホテル エミナース



会議では、討議を中心に行い、共通課題を「研修担当者としての課題、問題点」について討議を行い、選択課題として「研修生の確保」「研修受入れ農家、経営体の課題」「研修中の課題」「就農に際しての課題」等について、お互いの事例や意見を交換しました。

担当者の人事異動等で新しく赴任した時、新規就農者育成のノウハウや経験がないことで、非常に困っているという意見や一人に任されてしまうなど

組織的な対応が出来ていないことなどが挙げられました。が、この連携会議を機会にお互いの情報交換が出来るようになりました。組織間の連携を深めるために、この協議会の役割は大きい、研修生の出口すなわち新規就農直前の支援について、市町村との連携の重要性に気づいたなど積極的な意見交換が出来るなど成果がありました。



気づき研修(先進研修機関 視察研修)を実施



岡山県吉備中央農業公社の葡萄園を視察研修

日程は平成30年11月20日(火)～22日(木)、福井県若狭町「(有)かみなか農学舎」岡山県の「(公財)吉備中央農業公社」「平川村定住推進協議会」「榮農王国 山光園」「西山維新会」の視察研修を実施しました。

参加者は研修機関、受入農家、熊本県、関係機関、14名の皆さん。各機関では、特色ある新規就農者の受入れ研修が実施されており、「参加者全員が参考になる場所があった」「同じ悩みを持って研修受入れされていることに気づいた」「今後このような気づき研修があったら参加したい」など参加者から多くの意見がありました。



平山村定住推進協議会情報交換会の様子

新規就農研修生 集合研修会を開催

平成30年12月6日(木)メルパルク熊本にて、県下の各研修機関で農業次世代人材投資事業(旧青年就農給付金)を受け研修している新規就農者研修生を一堂に会して、計57名(研修機関、熊本県、市町村、関係機関、含む)の参加のもと集合研修会を、当協議会が初めて実施しました。



研修は、二つの基調講話「全国新規就農者研修の最近の動向と特徴」「宮崎県における新規就農者研修の実際」の後、グループワーク方式で自由に発言できる雰囲気での意見交換を実施しました。

全体的には、大変良かった45%、良かったが42%と答え、「色々な人の意見が聞けた」「全体的な動向等も知ることが出来た」などの意見がありました。普通と答えた人の意見では、「先輩談を聞いたかった」との意見や「懇談会の開催を期待する」と言った意見も出ていました。

NEWS

受入農家向けガイドブックを作成中



ガイドブックの内容の一部です

新規就農研修生の受入れに当たる受入農家のガイドブックとして、当協議会では、東海大学農学部等の協力をもとに現在編集中です。編集者は、東海大学、イラストレーター、当NPOの計6名で担当。今年度末に発行予定です。

共通研修カリキュラム作成

新規就農研修生が、農業を始めるにあたり基礎的な知識や技能の習得をねらいとして、研修生ファーストの立場で、共通カリキュラムとして作成しました。新規就農者育成カリキュラム作成W・Gを受入農家、熊本県立農業大学校、当協議会の計8名が担当し、共通カリキュラムを作成することが出来ました。



会場：当NPO事務所

農業人材適性・資質向上診断(アグリPLIアセスメント)研修実施



指導者研修写真

指導者研修の実施

「企業は人なり」と言われており、農業でもその重要性は変わりません。その人材を育成するうえで新規に参入する者の適性を①問題解決力、②企業内起業家精神、行動特性③リーダーシップを数百の項目にて診断し、その人の適正、資質、行動特性を総合的に診断する手法であるPLIアセスメントの具体的な指導方法を学びました。

PLI普及活動の実施

PLIの普及活動として、会員対象に研修会を3回(9月、11月、2月)実施しました。参加者からは、「新たに農業に参入するにあたり適性を客観的に把握することが大事であることがよく理解できた」という声がありました。



JA研修モデル支援を実施中

JA鹿本に対し、新規就農モデルになる活動を随時支援しました。また、各研修機関に対し、研修生が新規就農するのにあたり、市町村への提出書類等のアドバイス等を随時行っています。関係者の皆さん、当協議会へお気軽に訪問下さい。お待ちしております。



■お問い合わせ先……………

NPO法人 熊本県就農支援機関協議会 (担当) 吉村 孫徳、平岡 浩晃
〒861-1113 熊本県合志市栄3802-4(農業公園内) TEL:096-273-6015 FAX:096-273-6016
E-mail:k-shunoushien-k@ninus.ocn.ne.jp

